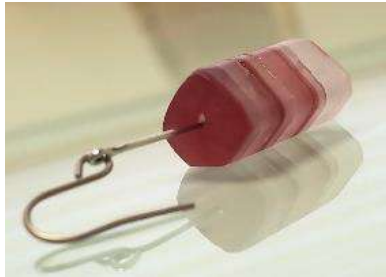


毎月お送りする資料の1枚にJujo Newsという物があります。(今年からデジタル版の十條資料ができました!!) 今月はガラスをカット、穴あけ後、削りと磨きで仕上げるピアスの作り方を掲載しました。Newsでは書き切れなかったもう一つのピアスの作り方をHP上でご紹介します。今回は、ガラスカット、穴あけ、ボンド接着でガラスを一体化し、削りと磨きで仕上げていく方法です。

1. 完成写真



25122 チタンフックピアスとの組み合わせ



25125 チタンピアス横カン付きとの組み合わせ

写真2点ともガラスを接着して作ったピアス

2. 作り方ー穴あけ

ガラスを削ることを考え少し大きめにカットします。今回は1.5cm角にカットしました。



ガラスを1.5cm角にカットします。それを7枚用意します。



穴あけの準備をします。穴をあける箇所に油性マジックで印を打つと良いでしょう。



穴あけには81098 ドレメル MICROを使用しました。コードレスで使いやすい上にパワフルなミニルーターです。



ドリルをONにするとLEDが点灯し、穴あけする箇所を明るく照らしてくれます。



穴をあける時は水をはった容器とカマボコ板くらいの木の板を用意します。

水はガラスの表面を少しカバーするくらいの量を入れ、ガラスの下に木の板を敷いて作業します。ドリルがガラスを貫通する時に木の板がクッションになり、容器を傷つけません。



別の作品の穴あけの写真ですが、水をガラスの表面より少し上までくるように入れて、穴あけ作業をします。下には木の板が敷いてあります。



穴あけのコツ:最初にダイヤモンドを当てる時は少し斜めにします。真っすぐ当てると、ビットが滑ってガラスに余分な傷をつけてしまいます。穴あけをする取っ掛かりを付けてから、ゆっくり穴をあけていきましょう。



今回は 81140 穴あけダイヤ1.1mmを使用しました。



7枚全部に穴をあけました。



穴をあけたガラスは失くさないように、発砲にTピンを立てて、ガラスを刺しておくとう便利です。

3. 作り方ー接着

ガラスを接着していきます。



接着剤は 93019 透明エポキシボンド (15g)を使用しました。2液混合性のエポキシ系ボンドで強力です。硬化も早く今回は約40-45分で硬化しました。その後、水につけてダイヤモンドで削っても剥がれませんでした。一つ欠点は、匂いが少しきついことです。



ボンドの用意ができたなら、爪楊枝などを使ってガラスに塗っていきます。あけた穴にボンドが入り込まないように気を付けてください。

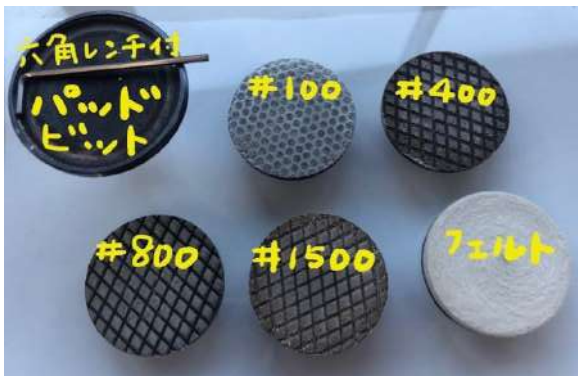


2液のボンドA剤とB剤それぞれ同量を出し、付属のプラスチックのヘラでよくかき混ぜます。量が極端に違っていたり、かき混ぜ方があまいと、本来の接着力が落ちてしまうのでご注意ください。詳しくは本商品裏面の説明書をご参照ください。

接着剤を塗り終えたら、硬化する前にガラスをTピンから抜き取りましょう。Tピンに刺したまま乾かすと、ピンがくっついてしまう可能性があります。

ボンドが硬化したら削りの工程に入ります。

4. 作り方ー削り・磨き



番号	商品名
80400	クイックフッターパッドビット 2" 六角レンチ付き
80400A	ダイヤモンドパッド #100
80400C	レジンパッド #400
80400D	レジンパッド #800
80400E	レジンパッド #1500
80400F	フェルトパッド

今回、削り・磨きには大きさ2" (約5cm)のクイックフッタービットを使いました。通常のルーターに取り付けできる削り・磨きのビットとダイヤモンド・レジンパッドです。小さい刃ですが、今回のアクセサリ作りにはぴったりです。



ルーターは80023 GR スタジオグラインダーを使用しました。水が飛ぶので、プラスチックのトレーを置いて使います。



水飛び防止のスプラッシュガード手作り!! 段ボールにサランラップを何重にもまいて、さらに幅広のセロハンテープで貼りました。手作りにしてはしっかりとしたガードができました。



取り付け方: 80400 クイックフッターパッドビットをルーターのシャフト棒に差し込みます。3点のネジを六角レンチでしっかり締め、取付完了です。



セッティングするとこんな感じです。プラスチックのトレーにピッタリはまりました。

4. 作り方一削り・磨き続き

ダイヤパッドとレジンパッドで削り・磨いていきます。今回はマットな仕上げにしたかったので、#800で磨きをストップしています。

このクイックフィッターには水を供給するシステムがありません。ご使用の際は必ず片手に水を含んだスポンジをもって、パッドに当てながらご使用ください。



#100ダイヤパッド:粗削り。ガリガリ削れるパッドです。これである程度の形まで削っていきます。角も取っておきましょう。粗削りなので、削り跡が白く残っているのが分かります。あと、縁周りもガタガタです。



#400 レジンパッド:粗削りの白い削り跡を消すことができます。ここから磨きのパッドになりますが、力をいれて磨くとそれなりにガラスは削れていくので注意してください。#100の削り跡が消えるくらいまで磨いていきましょう。



#800 レジンパッド:ある程度艶を出すことができます。今回はこれで仕上げるので、縁周りも含めて丁寧に磨きましょう。艶が出始めたら完了です。

磨きのコツは、細かくガラスをチェックすることです。削っては、ガラスの傷跡の状態を見ます。特に今回は#400のパッドから#800のパッドに移行する際に、#100粗削りでついた白い削り跡が残っていないかを小まめにチェックします。チェックする際は、乾いた布でしっかり水分をふき取ってください。

仕上げに、ハンドクリームや保湿ジェルなどを少量ガラスに塗り込むと、艶が出て綺麗に仕上がります。

5. 作り方一金具取付



今回は25413 Tピンシルバーを使います。



Tピンシルバーをガラスに通し、先端を6-7mm出します。



出した先端を90度にグイッと曲げましょう。



曲げた先端を、先の細いプライヤーで少しずつ曲げていきます。



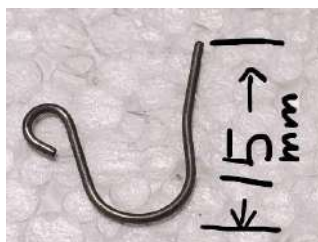
"?"の形を作るイメージで曲げていきましょう。



さらにしっかりと丸めて、Tピンの取り付け完成です。



丸めた先を上につけて、ピアスのパーツを取り付けられるようにします。Tピンが曲がっていたら、調整して真っすぐにします。



ピンクのピアスには25122 チタンフックピアスを使用しました。(写真は1ケですが、販売は1袋に2ケ入りです。)



完成です！！



青いピアスには、25125 チタンピアス横カン付きを使用しました。ポスト付きタイプのピアスです。こちらも販売は1袋2ケ入りです。

注意！今回紹介しましたピアスは両方ともチタン製で、金属アレルギーの方でも着用できる素材の物ですが、実際に着けてアレルギー反応がでた場合はすぐにご使用をおやめください。